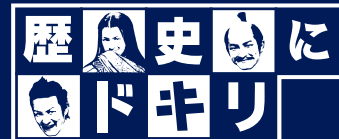


番組活用案

さい こう たか もり き ど たか よし
西郷隆盛・木戸孝允

～明治の国づくり
(倒幕運動)～



1 ねらい

西郷隆盛と木戸孝允が倒幕運動に携わって新しい国づくりを進めたことを知り、新政府の仕組みづくりに取り組んだことが分かるようにする。

2 授業の流れ

1 導入・視聴前のポイント (10分)

- ・ペリー来航後、幕府が不平等条約を結ばされたことを知る。
- ・薩英戦争後、薩摩藩の西郷隆盛が倒幕を目指したことを知る。
- ・西郷隆盛と木戸孝允が薩長同盟を結んだことを知る。
- ★対立していた西郷隆盛(薩摩藩)と木戸孝允(長州藩)が、坂本龍馬(土佐藩)の仲立ちにより、薩長同盟を結び、倒幕の中心人物となっていた。

2 学習課題の提示

「西郷隆盛と木戸孝允の活躍を通して、明治の国づくりについて知ろう。」

3 番組視聴 ワークシート1 (20分)

- ・西郷隆盛が倒幕運動の中心になっていたことに注目しながら、薩長同盟や大政奉還、戊辰戦争について、分かったことをワークシート1にメモする。
- ★西郷と木戸は薩長同盟を結び、天皇中心の新しい国を作るための倒幕運動を進めた。
- ★1867年、15代将軍徳川慶喜は、政権を朝廷に返すことを伝えた。(大政奉還)

4 情報整理 ワークシート2 (10分)

- ・ワークシート1を基に、「ドキリ・ポイント」を手がかりにして、新政府の仕組みづくりについて、自分の考えをまとめる。
- ★新政府は藩を廃止して、新しく府県を置く「廃藩置県」を実施した。
- ★身分制度をなくして、国民はみな平等とする四民平等の考え方を打ち出した。
平民にも名字が許され、仕事が自由に選べるようになった。
- ★廃刀令が出され、武士には刀を捨てさせた。

5 まとめ ワークシート3 (5分)

- ・学習課題についてのまとめをする。

